

神奈川ウォーキング参加 H 2 3 - 1 0

新年おめでとう初例会ウォーク

鎌倉・江の島七福神めぐり

日時：平成 24 年 1 月 7 日 (土) 9:45 北鎌倉駅集合

コース：北鎌倉駅→浄智寺(布袋尊)→鶴岡八幡宮・旗上弁財天社(弁財天)→宝戒時(毘沙門天)
→妙隆寺(壽老人)→本覚寺(夷神=恵比須神)→鎌倉生涯学習センター(昼食)→長谷寺(大黒天)
御霊神社(福祿寿)→<江ノ電極楽寺駅→江ノ島駅>→江島神社(弁財天)→江ノ島駅
解散 19,000 歩 12km

参加者：神谷総括 L・吉越 L・藤崎 L 含め会員 40 人 + 一般 11 人 = 合計 51 人

班編成：4 班をリボン分け {1 班} GL 高橋文 11 人 (一般 4 人) {2 班} 勅使河原 GL 11 人 (3 人)
{3 班} 仲 GL 10 人 (2 人) {4 班} 平嶋 GL 19 人 (2 人)

- ・年末 12/28 (水) ~ 1/5 (木) 9 日間、三姉妹家族入れ替わり集合し、ピーク 15 人の大集合になり、料理造りと年末年始は施設休館で、孫相手の遊びに家に閉じこもりも多く、9 日間で 23,000 歩と、あまりにも非健康的、体からアルコールを取り除こうと、新年初ウォーク「鎌倉・江の島七福神めぐり」に参加しました。
- ・天候は快晴で参加者も、一般 11 人を含め 51 人と盛大でした。「鎌倉・江の島七福神コース」人気があり 3 連休入り口の土曜日と有って人出も多く、七福神お参りの行列待ちで人員点呼も大変でした。昼食場所予定の鎌倉障害学習センターも既に他のウォーク仲間一杯、歩道わきのベンチで堂々と食事しました。

鎌倉・江の島七福神の学習……福の神にも歴史があります

- ・七福神信仰は室町末期に庶民の間で始まったようです。当初は恵比須様と大黒様の人気の神様と一緒に祀る事から始まったようです。

①恵比須

父イザナギノ命と母イザナミノ命の子で七福神の中で唯一日本発祥の神様。恵比須様の持つ釣り竿には「釣りして網せず」が反映されており、暴利を食らないう清らかなお心に「商売繁盛」の神様として親しまれております。「開運」の神でもある。

②大黒天

インドの破壊の神マハーカーラー、ヒンズー教の最高神シバの夜の姿ともいわれる。これが仏教になると厨房の神となり台所に大黒天を祭ると、食べる物に困らないと信仰された。「海運・開運」の神。後には「商売繁盛・財福」の神。大きな袋を背負って全国を回った「大国主命」、「大黒」と「大国」で文字が似ている為、袋を担いだお姿になったと云われます。

③弁財天

次に加わったのが「天細女命(あめのうずめのみこと)」で天照大神が天の岩屋戸に隠れた時、岩屋戸の前で舞踊した女神として知られている。しかし京都では「弁財天」の方が人気有った為に天細女命に代わって七福神、紅一点の座に座ったと言われています。元はインドのサラスバティと言う河の神様。

美しい河の流れの音から発展し、「音楽の神」として信仰された。古くは「弁才天」と書かれていたが、次第に「弁財天」と書くようになった。「芸能・開運・財運」の神様。

④毘沙門天

インド出身の神様で、仏教では須弥山（しゆみせん）の周りを守る四天王の一人。「病魔退散」の神。軍神として有名であるが、別名の「多聞天」から「知恵」の神でもある。

⑤布袋尊（布袋和尚）

五代十国の一つ後梁王朝（907～923）の頃、中国に実在した禅宗。大きな袋を持って喜捨を集めて歩いた為に、この名がついた。「堪忍袋の緒が切れる」の「堪忍袋」はこの人が持っている袋。「不老長寿・人格円満・夫婦円満・子宝・金運」の神。

.....

・本来なら**五福神**でも良いはずなのだが、仏教經典「仁王般若波羅密教」にある「七難即滅七福即生」（**仏教の教えを守ってさえいれば、「太陽・星の異変、火災、水害、風害、旱害、盗難の七つの大難」は消滅し、七つの福が得られると云う教え**）にちなんで**壽老人**と**福祿神**を加えて**七福神**にしたと言われています。共に南極星の化身で同体異名の神だと言われているようです。

⑥壽老人

中国の道教に起源を持つ、白い髭を蓄え、經典の付いた杖を持ち、鹿を伴う姿で描かれることが多い。「長寿」の神。

⑦福祿壽

同じく道教に起源を持つ神様で、長い頭が特徴。「福＝幸福」「祿＝財産・地位」「壽＝寿命」に御利益があると云う有り難い神様。

今日は鎌倉北の「浄智寺」から南に順に七福神をめぐり、最後に江の島に渡り「江島神社」の八寺社をお参りしました。未広がり縁起のいい「八福神」めぐりです。



↑北鎌倉駅正面出口で待つ神谷シ



↑駅前狭く円覚寺参道へ移動

①浄智寺：「布袋尊」鎌倉五山第四位、臨済宗円覚寺派、金宝山。執権北条時頼の三男宗政が（1281）29歳の若さで亡くなり、宗政夫人が一族の助けで寺を起し1285年開創。



←D班平嶋GLの先頭で出発、浄智寺へ到着、参道入り口石橋のほとりに有る「甘露の井」は鎌倉十井の一つ





↑ 参道石段を登る



↑ ここで神谷総括Lの説明



↑ 高橋文GLのストレッチ



↑ 木造三坐像（県重要文化財）



↑ 茅葺の客殿

←この洞窟を潜ると七福神「布袋様」





←袋を持たない、ユーモラスな布袋様
 お腹をさすると御利益が有り、参拝者が
 皆触って行くので、お腹は真黒です。
 さすっている人は誰でしょう。



②鶴岡八幡宮：旗上弁天社「弁財天」



旗上弁天社

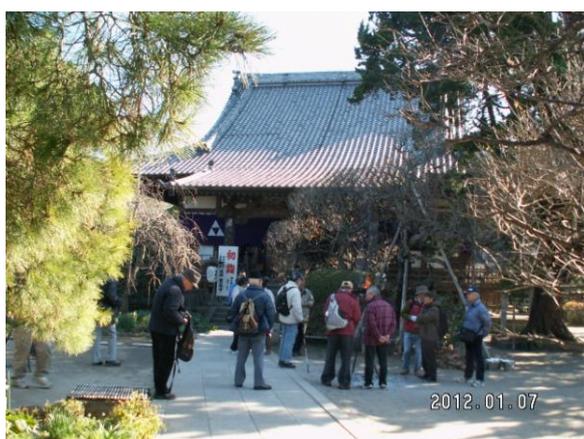
鶴岡八幡宮を背景に集合写真を
 撮ろうとしましたが、参拝客
 多く右端木陰の撮影となり、暗
 くなりごめんなさい。

静御前悲話：名うての白拍子静
 御前は、頼朝公が関東繁栄を寿
 ぐ祝儀に反して、義経との別れ
 の曲を舞う。「吉野山峯の白雪
 踏みわけて 入りし人のあと
 ぞ恋しき 静や静ず おだ巻
 きくり返し 昔を今になすよ
 しもがな」舞殿：義経との悲話
 の舞台です。素晴らしき恋人！

鶴岡八幡宮の赤い太鼓橋の左が
 「平家池・白蓮」右に「源氏池・
 赤蓮」が有り、弦巻田（苗を渦巻
 の様に植える⇒齊田）の跡であっ
 た。それぞれ四つの島が有ったが、
 北条政子は源氏池の方だけ、「四」は縁起が悪いと「三島」にしたとの事。
 この「源氏池」に「旗上弁天社」が有り、木造の「弁財天」（1266）は
 八幡様の楽人であった中原光氏が奉納したと言われる像で、裸体に本物の衣
 服が着せられているようです。



③宝戒寺：「毘沙門天」天台宗、金龍山釈満院円頓宝戒寺。1333年新田義貞の鎌倉攻めで、鎌倉幕府が滅亡し北条一族が滅び、北条九代の霊を慰めるため、御醍醐天皇が足利尊氏に命じて、1354年頃建立された。萩寺として有名、枝垂れ梅が咲き始めて見られた。



本堂には5代国師と普川国師和上座像、閻摩大王・伝教大師・弘法大師・(協立)梵天像が有る

④妙隆寺：「壽老人」日蓮宗総持寺。1385年、千葉胤貞が祖先追福の為「七堂加藍」を建立し創建。



七福神の御拝顔は大変です
(写真左、覗き見)

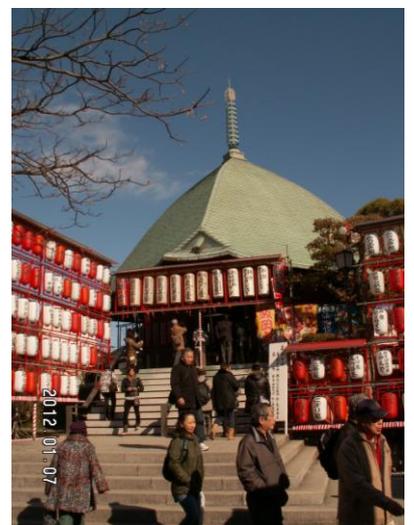
←窓からの写真、失礼します



お庭の石像「壽老人」は撫ぜられます



⑤本覚寺：「夷神・恵比須神」1436年、日出上人創建。この地は幕府の鬼門にあたるとして、源頼朝は「夷堂」を建てたのが始まりとされている。天台宗で有ったが、1274年日蓮が佐渡配流から帰って、この夷堂に滞在し、辻説法の拠点にし、天台宗から日蓮宗に改め。後に彼が再興した身延山から日蓮の分骨を納め「本覚寺」とし、「東身延」と呼ばれる由縁の様です。〈予定を変更し、昼食前にお参りしました〉



↑夷堂

⑥鎌倉障害学習センター：昼食・・・他のウォークマンで
満杯の為、歩道ベンチで夫々に堂々と！強い熟男熟女です

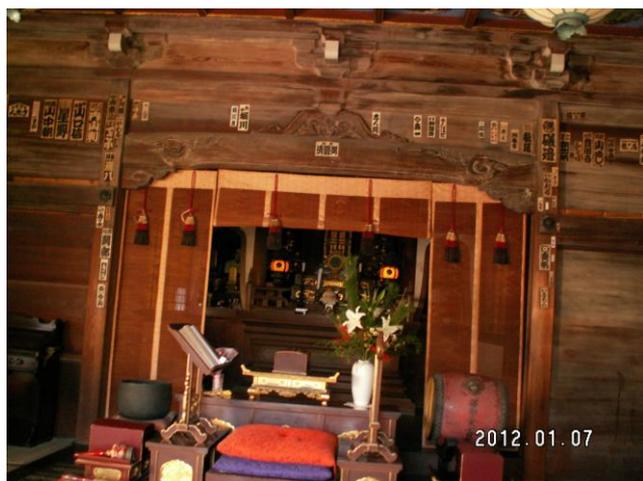


<一般参加者の紹介>お名前は失礼します

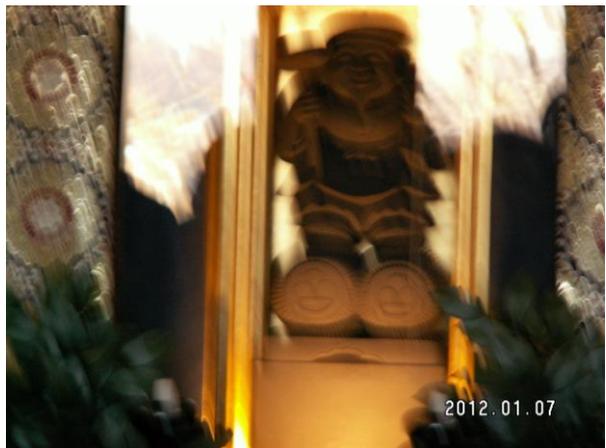




⑦大巧寺 (だいぎょうじ)「おめんさま」：日蓮宗、日棟上人が安産の神として祀った。・・鎌倉生涯学習センターの直ぐ隣に有り、小生1人で参拝しました。庭と天井の絵が綺麗。



⑧長谷寺：「大黒天」海光山慈照院 浄土宗 736年創建。徳道上人が楠の大木から二面の十一面観音像を造り、
 一体が「大和長谷寺」（712年）、もう一体を祈祷の上、海に流したところ、15年後に相模の国三浦半島に
 流れ着き鎌倉に安置したのが「鎌倉長谷寺」と伝えられている。十一面観音像高さ18m。



↑見晴台からの眺め



弁天窟の中に入る。弘法大師が彫ったと云う弁財天↓と十六童子、更に洞窟内には小さい守り像が有ります。↓



放生池↑



↑ 蠟梅が咲いていました



← 1班 (高橋文GL) ↑ 4班 (平嶋GL)



←青空に映える、この時期、希少価値の紅葉

←紅葉が綺麗で4班有志の写真を撮りました。各班の写真を「長谷寺山門」前で撮ろうとしたのですが、全員揃わず、又参拝客多く並べませんでした。お許しの程。



⑨御霊神社「福緑寿」：平安後期、関東平氏五家（鎌倉・梶原・村岡・長岡・大庭）各氏の五霊を祀り、転じて御霊神社となった。後に鎌倉権五郎影政一柱の祭神に集約され「権五郎神社」と呼ばれるようになった様です。神奈川県内には同系列の後霊神社が他に11社有ります。影政公の命日9月18日は「福緑寿」の面を被った祭が有り、妊婦を中心に「おかめ」の面を付けた「面掛行列」の奇祭が行われます。





↑ 庚申塔が集められています



↑ 龍の彫り物も素晴らしい



↑ お参りの長い列です



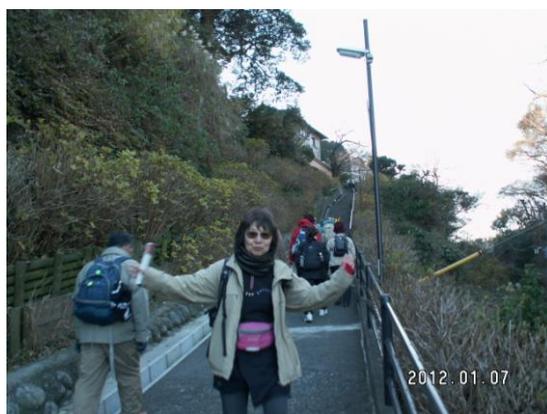
↑ 子孫繁栄、妊婦のおなかは真黒ですが、今日の熟女の皆さん・・・もう関係ないか？

⑩成就院：極楽駅に向う途中，紫陽花寺で有名で海が見える長い石段を登る、サービスウォーク。流石神奈川

ウォーク楽はさせませんぞ。好天下の由比ヶ浜は綺麗でした。

←頑張れよ～
綺麗な海が見えるヨ～平嶋GL

P 1 2





↑ 14:40 急な石段に堪える、皆さん元気です！頑張りました



↑下の道路を歩く人は誰もいませんでした。

↑その御褒美に、この景色！紫陽花なくても十分です



↑成就院は横目でちらり眺めて

↑極楽寺駅に到着 14:45 伊藤万歩計自宅から 12,000 歩

←江の電で極楽寺駅 14:55 発、江の島駅に由比ヶ浜を車窓から眺めていく。
15:25 江の島に到着 夕日はまだ早い



⑩江島神社「弁財天」：552年欽明天皇の勅命により、島の南の洞窟に宮を建てたのが始まりと言われてい
 るが、1182年源頼朝の命により、分覚が島の岩窟に弁財天を勧請したのを、創建とするようでもあります。
 三人姉妹女神を祀り、日本三大弁天の一つです。

岩本坊（奥津宮＝多紀理比賣命＝たぎりひめのみこと）・上ノ坊（中津宮＝市寸島比賣命＝いちきしまひめ
 のみこと）・下ノ坊（辺津宮＝田寸比賣命＝たぎつめひめのみこと）の三ノ坊（宮）が有る。1649年岩本坊
 は京都仁和寺の末となり、「岩本院」となった。三つの坊で権力争いが続いていたが、1640年岩本坊が幕府の
 朱印状を貰い、上ノ坊、下ノ坊を吸収した。1872年神仏分離で「江島神社」になった。

奥津の八角お堂「泰安殿」は奈良法隆寺の「夢殿」をモデルに、昭和45年に建立されたもの。

¥150で御堂に入り、「木造彩色八臂弁財天」と裸弁財天の「妙音弁財天」が飾られ、龍の木彫り彫刻がま
 た素晴らしい。写真取れず残念でした。吉越さん、「座布団を白い太ももの足に挟んでいる風情、何とも悩ま
 しい」熟男軍も「白い肌の妖艶なお姿を眺め、今年はカラオケが更に上手に、お小遣いも沢山当たりますかな？」



↑参拝客で一杯でした



↑泰安殿に入りました¥150（撮影禁止）



橋の麓に16時集合：16時過ぎの夕日です。↑富士山ががすかに見えました。



←高橋文さんによるストレッチと↑吉野会長挨拶

吉野会長：「神奈川ウォーキングも 10 周年を迎え、ウォーキングはこれからどういう事をやるのか、皆さんと一緒に考えて更なる飛躍をしたいと思ひます。よろしくお願ひします」と締めめの挨拶で解散しました。

⑫アフターウォーク：「サイゼリア」24人参加しました。笑顔！笑顔！元気な熟女熟男です！



仲さんシルバー免許更新、既に完了の伊藤が経験談、更にゴールドマーク談議、藁谷さん解説入りで盛り上がりビックワイン紅白2本！



編集後記：平成 24 年は小生の辰年、新年スタートの例会を楽しく終えることが出来ました。一般 11 人を含め総勢 51 人の参加で盛り上がり、しかも絶好の好天に恵まれ、縁起の良い、末広がり「八福神」にお参りし、今年は皆さんに福が来るよい年になる事でしょう。お互い励まし合い明るく楽しいウォーキングにしましょう。神谷総括L、吉越・藤崎L、4 人のGL、運営委員の皆さん下見を含めご苦労さまでした。厚くお礼申しあげます。小生のカメラも鶴岡八幡宮で故障したのですが、この弁天様に二度お参りしましたら直りました。説明文はPCのHPから引用させて戴きました。拙いボケ防止用の「メモと写真」誤り有るやもしれませんが、お許しの程よろしくお願ひ致します。